

浅原和美氏

1. 立候補を決めた理由を教えてください

これまで多くの皆様に支えられ、市議を6期務めることができた。この間、市議会議長をはじめ議会の要職を務めさせていただいたことに感謝している。現在、本市は市制100周年を迎える歴史的な時期にあり、また市政も新たな局面に入ろうとしている。引き続き、支えてくださる多くの皆様のご期待におこたえし、魅力あるまちづくりを推進するとともに、市民の皆様の暮らしを守るために、立候補を決意した。

2. 沼津市が現在抱えている最大の課題は何で、どのような対応策が必要だとお考えですか

中心市街地の衰退が最大の課題であると考えている。市は「中心市街地まちづくり戦略」に基づき、社会実験等を実施してきたが、活気あふれる具体的な姿が見えない。今後、新体育館や中央公園との連携を進め、個々の商店街の魅力を高め、再開発事業等によるまちなか居住を進める必要があると考える。また、鉄道高架事業を見据えて、魅力的な店舗を誘致することも必要である。

3. 沼津駅付近鉄道高架事業により沼津市の再生は可能だと考えますか。

可能だとすれば、そこには、どんな因果関係があると思われますか。

沼津の将来を考えた時、本事業は不可欠。南北交通の円滑化だけでなく、駅周辺に商業・福祉・教育に関する店舗や市役所・市立病院などの公共施設を集めることで少子化でも賑わいのあるコンパクトなまちづくりが可能。全国的にまちなかの商店街が、いわゆる「シャッター通り」化する中、中心市街地を南北に分断している鉄道を高架することで商業も含め活気あるまちづくりが進み、沼津の顔である駅周辺の魅力向上に資する。

4. 沼津市の人口減少について、国の関係機関の予測を上回るような沼津

市当局が考えている合計特殊出生率の達成は可能だと考えられますか。

移住・定住策で何か、お考えはありますか。

国立社会保障人口問題研究所の将来人口推計は人口減少を国民が危機意識を持って捉えることを目的に公表されたものと考えている。これを受けて国・都道府県・市町村で「人口ビジョン」及び「総合戦略」を定め推計を上回るよう取り組んでいる。人口問題は自治体が移住・定住策を実施することでは解決せず、国レベルでの対策が必要。人口減少が進むことを踏まえると、人口増加策より、人口減少下での持続可能な社会づくりが必要。